

在庫の山を消し去る、 3つの生産管理技術

在庫が経営の足かせになっていませんか？

「倉庫へ行けば、在庫の山、山、山。現場も通路まで埋まっている」。
「物探しだけで20分。それをあっちへ移動、こっちへ移動。」
私はこの14年間、このような会社をたくさん治療してきました。
言うまでもなく、在庫はお金——。この在庫をお金に変えることができれば……。
当然、借金を減らせますし、最新設備を買うことができます。
ではどうするか——。
「必要な物を、必要な時に、必要なだけ調達したり、作ったりする、いわゆるジャスト・イン・タイム」を実行すればいいのです。
しかし、これは理屈。
現実に実行できない会社がほとんどです。
なぜか——。
その原因は、在庫削減に必要な生産管理技術を使っていないからです。
このセミナーでは、3ヵ月後の在庫を半分にする“3つの生産管理技術”についてお教えます。

【対象者】 営業、生産管理、資材購買、外注管理、製造、
物流、経営管理部門の実務責任者

注文が増え始めた、今しかない！

貴社の在庫は、半分になりましたか？

多くの経営者は、「在庫を減らせ」と声高に叫んでいます。当の管理者は目先の在庫を減らすことで精一杯。ましてや半年後の在庫を減らすことなど雲の上の話になっていませんか？
こうなる原因は、在庫を削減するために必要な“生産管理技術を身に付けていない”からです。
本来であれば、今日の在庫、来月の在庫、3ヶ月後の在庫、さらには資材在庫、仕掛在庫、完成品在庫ごとに、生産管理技術のメスを変えて減らしてなければなりません。
しかし残念なことに、このような簡単な技術の存在を多くの企業が知りません。この技術を知れば、在庫はすぐ1/2にすることができます。
なぜそう断言できるか——。私は多くの企業で、このことを実践したからです。

講師 西田順生
(にしだ じゅんせい)

製造業専門の収益改善コンサルティング会社 株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士(経営工学部門)

1977年神奈川大学工学部工業経営学科へ入学し、生産管理技術に魅了される。81年同学科卒業。(株)村田製作所グループ及び(株)ナオにて、生産管理、外注管理、購買業務の実務を経験。96年コンサルタントとして独立。優良企業での実務経験とコンサルティング現場で培ったプライシング&コストダウンシステムで脚光を浴び、首都圏、東海、北陸、中国、近畿、九州地区の製造業に対して、収益改善に向けたコンサルティング、講演活動を精力的に行っている。06年「収益改善プログラム(通称IPP)」を開発する。

＜2005年からの講師実績＞

日本経営合理化協会 14回以上
三菱UFJリサーチ&コンサルティング 12回以上
みずほ総合研究所(株) 13回以上
SMBCコンサルティング、りそな総合研究所、
(株)新技術開発センター、大阪商工会議所その他 17回以上

＜主著＞

「買いたたかれない会社の3つの戦略(中経出版)」
「緊急!収益改善会議(中経出版)」
「作る前にコストダウンする技術(PHP研究所)」
「粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)」
「生産革命 変種変量生産しが儲からない(泉文堂)」
その他多数。



セミナーのねらい

在庫削減にもっとも効果的な、生産管理技術を学んで頂きます。

セミナーの特徴

- 設問方式で進行していきますので、受け身になりません。
- 実習を通して、“体”で学ぶことができます。

セミナーカリキュラム

1. 今日の在庫を減らす方法

- (1) 準備をしっかりと行う
 - ① 在庫について、正しい知識を持つ
 - ② 腹に落ちる削減目標を立てよ
 - ③ プロジェクトチームを編成せよ
 - ④ 推進計画を立てよ
- (2) 1S(整理)から実施せよ
 - ① 効果てきめんの実施手順
 - ② 上手に整理するコツ
- (3) 2S(整頓)へ展開せよ
 - ① 誰もができる実施手順
 - ② 上手に2S(整頓)するコツ

2. 1ヵ月後の在庫を激減させる方法

- (1) 先行手配、先行生産をやめる
- (2) 見込み手配、見込み生産をやめる
- (3) 小ロット購入、小ロット生産を実行する
- (4) 作りすぎのムダをゼロにする
- (5) 平準化を徹底する

3. 3ヶ月後の在庫をゼロにする方法

- (1) 将来の在庫量を決めよ
- (2) 販売計画で手配する方法
- (3) 生産計画で手配する方法
- (4) コンピュータによる自動手配

- ★ 実習1: 安全在庫、計画在庫を設定し、最低限な必要な量を計算する。
- ★ 実習2: ジャスト・イン・タイムの生産指示(調達)方法を学ぶ。

◆実施日時
2010年7月22日(木) 10:00~16:30

◆場所
TKP品川カンファレンスセンター(JR品川駅高輪口徒歩3分)
〒108-0074東京都港区高輪3-13-1
TAKANAWA COURT3階

◆参加費用
22,400円/1人(税込み)

◆セミナーのお申し込み方法
下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX(03-6411-1265)にてお送り下さい。後日、受講票及び請求書を郵送させていただきますので参加料金を指定口座にお振込み下さい。

◆主催・お問い合わせ先
株式会社 西田経営技術士事務所
〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス8F
TEL03-6411-1264 FAX03-6411-1265
<http://www.ni-g-j.co.jp> e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp

受講者の声

- 私は資材課長を務めていますが、欠品を恐れるがためにたくさん在庫を抱えていました。そのために期末に廃棄する資材が膨大になりいつも心を痛めていましたが、今回学んだ手法を実践すれば、在庫が減らせる自信が湧いてきました。
(群馬県 資材課長:澤田潤一郎)
- 今まで仕掛在庫や完成品在庫の削減にかなり取り組んできたので問題ないと思っていましたが、西田先生の話聞いて我流であったことに気づき、大変なショックを受けました。
(東京都 生産管理部課長:宮田 晃)
- セミナーにいくつかの設問が組み込まれており、考えながら参加できたので退屈することがなかった。また実習を通じて在庫削減の手順が体験できたのがよかった。
(神奈川県 製造課長:中野俊英)



多すぎて書ききれません

セミナーNo.100722 在庫の山を消し去る、3つの生産管理技術 申込書

FAX 03-6411-1265

ふりがな			
会社名			
所在地	□□□□□□□□		
TEL番号			FAX番号
連絡担当者	部署	氏名(ふりがな)	
参加者	部署名	部署名	部署名
	役職名	役職名	役職名
	ふりがな	ふりがな	ふりがな
	氏名	氏名	氏名

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、「守秘義務」「信用失墜行為の禁止」が課せられていますので、ご安心ください。